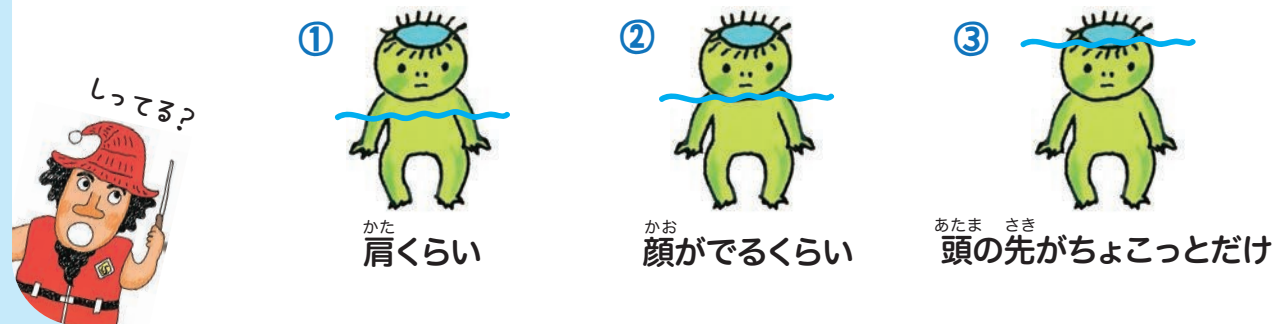


Q. 人間の身体はどれくらい浮くの？（た——っぶり息を吸った時）



A. 人間の身体は息をた——っぶり吸っても※
2%くらいしか浮きません！

※体の中に空気がいっぱいある時

正解は
③!!

流れている水や波のあるところだと、息ができずに、おぼれてしまうことがあります。
そして、ほとんどの人は息をはくとしずんでしまいます。
自然の水辺では、プールでバリバリ泳げる人でも、オリンピックに出た水泳選手でも
おぼれてしまうことがあるんです…。

ちょっとしか
うかないんだね。



「ライフジャケット」をつけると
顔が水より上に出ます！

だから、水辺に近づく時は…

「かっぱの“お・さ・ら”！」を大切に！
「ライフジャケット」を準備しておこう!!

～ 大人の方へ ～

子どもたちは思っているより浮きません。
なので、一瞬でしずんでしまうことがあるんです。子どもたちがおぼれる時は、音も立てず
にしずかにおぼれる…とされています。
見守る時は腕の届く範囲で、そして、必ず
「ライフジャケット」を準備してくださいね！
大人も「ライフジャケット」をお忘れなく!!

どうが
動画でわかる！/



ライジャケサンタの
「水辺の安全教室」



水辺に出かける前に、お子さんと一緒にこちらのWebサイトで 学んでください！



子どもたちに
ライフジャケットを！



香川県教育委員会
「学校における水難事故
防止対策強化事業」



公益財団法人
日本ライフセービング協会
「e-Lifesaving」



公益財団法人 河川財団
「水辺の安全ハンドブック」

本資料は、学校や園などでの授業目的での使用に限り、ご自由にお使いいただけます。資料の転載・改変はご遠慮ください。
授業以外での使用をご希望の場合は、こちらに事前に連絡をお願いします。▶「子どもたちにライフジャケットを！」 info@lifejacket-santa.com

おぼえよう！ よい子の水辺の おやくそく

～「ライフジャケット」は命のおまもり～

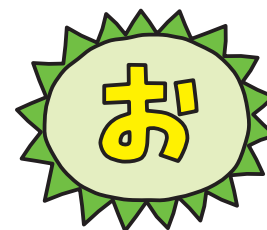


たの
楽しく水辺で遊ぶための合言葉、言えるかな？

「かっぱの“お・さ・ら”！」

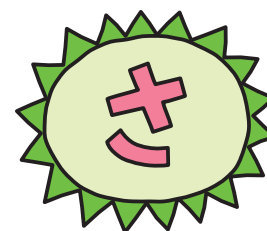
海や川、湖や池などの水辺では気をつけないとあぶないところがあるよ。

「かっぱの“お・さ・ら”！」の合言葉を覚えよう!!



おとなといっしょに!!

子どもだけで水辺に近づかないこと! 水辺では、足をすべらせてころ
んだり、急に深くなっていたりして、おぼれてしまうことがあります。



サンダルはぬげないものを!!

水辺ではサンダルやぼうしなど、落としてしまったものをひろおうと
したり、流されたものを追いかけてたりして事故につながるこ
があります。まずは、ぬげないもの(かかとがとめられる「サンダル」や
「くつ」)をはくこと! 何かを落としたり、流されたりしたら、近く
にいる大人に助けをもらおう!



「ライフジャケット」をつけよう!!

水辺では「ライフジャケット」をつけることを忘れずに! 事故が起こっ
てしまっても「ライフジャケット」をつけていた人のほとんどが助
かっています。準備できる時は必ず、「ライフジャケット」をつけよう!



「ライフジャケット」をつけると安心だね

こんなところがあぶない！

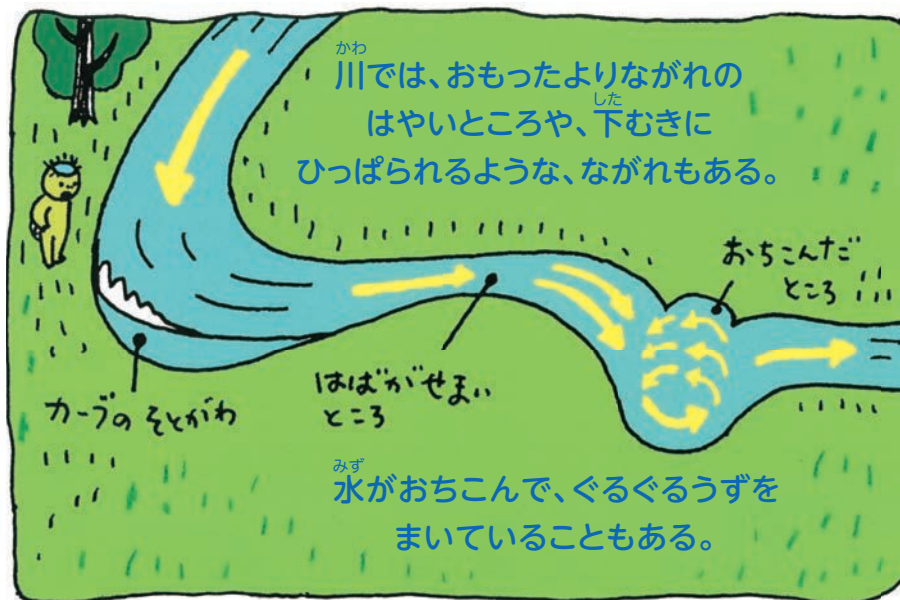
！海



海では、岸から沖にむかってながれているところがある。「離岸流」っていうんだよ。

海水浴をしているときに、遊んでいた浜辺から、近くの浜辺に泳いでいく途中でおぼれた事故があったよ。みんな「ライフジャケット」をつけていなかったんだって！特に小さな子どもは浮具に乗ったまま風に流されてしまったり、風に流されたものを追いかけておぼれてしまったり、風で流されることもあるから注意が必要だね。

！川

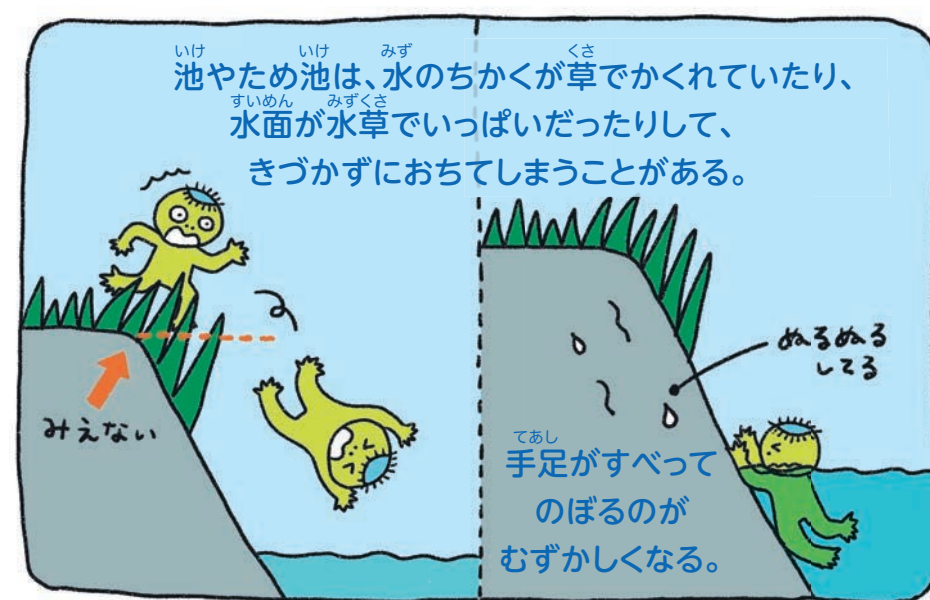


川では、おもったよりながれのはやいところや、下むきにひっぱられるような、ながれもある。

水がおちこんで、ぐるぐるうずをまいていることもある。

流れてしまったビーチボールやサンダルを取りに行こうとしておぼれた事故や、川で釣りをしているときに釣り糸が切れて、流されたルアーを取りに行っておぼれた事故があったよ。流されたものが大切なものでも、絶対に追いかけないで自分の命を守ろうね！

！池・ため池



池やため池は、水のちかさが草でかくれていたり、水面が水草でいっぱいだったりして、きづかずに落ちてしまうことがある。

釣りをしているときに水に落ちて、斜面のぬめりで、はいあがることができずにおぼれてしまった事故があったよ。その池には柵がなかったみたい。落ちてしまうと、ぬるぬるしてはいあがれないことがあるから、池やため池には近づかないようにしてね。

ほかにもこんなキケンが…

海・川・池



海でも、川でも、池でも、きゅうにふかくなって足がつかなくなるところがあるよ。

水中が見えないから深みにはまっておぼれてしまった事故があったよ。危ない場所は見ただけではわからないんだね。水面が太陽の光でキラキラしていたり、水がにごっていると水中が見えないから、特に注意が必要だね。

まえ・よこ・おまたのおやくそく！

「ライフジャケット」のつけ方

海・川・池それぞれの気を付けるポイントはわかったかな。悲しい事故につながらないように遊びに行くときは「ライフジャケット」を準備しよう！



さいごはおとなにかくにんしてもらおう！

まえ



まえのチャックをしめる！

よこ



よこのベルトをしめる！

ゆるみやすいのでしっかりと、ちょっときついくらいに。

おまた



おまたのベルトをしめる！



おお
大きすぎる
ものは…



あたまがしずんでしまったり



スポッとぬけてしまうことも。
おまたのひもをわすれずに！